

科目名		授業形態	担当教員名	
神経眼科 I		講義	谷口 誠典	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
60 時間 (2 単位)		30 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
核・核下性疾患について、脳神経の走行や血管などできるだけ多くのイラストを描きながら、複雑な神経や血管の走行をわかりやすく解説し病態生理を説明します。				
授業の到達目標				
①核・核下性疾患の病態生理を理解する。 ②分野毎に国家試験過去問題を解くことで、疾患の重要項目を掴むことができる。				
授業計画				
回	内容			
1	神経の構造と機能① (中枢神経系と末梢神経系)		16	外転神経麻痺
2	神経の構造と機能② (ニューロンについて)		17	複合筋麻痺、脳卒中、片頭痛
3	脱分極		18	ホルモンとは (甲状腺ホルモン)
4	伝導と伝達		19	Basedow病①
5	対光反射		20	Basedow病②、視路疾患①
6	練習問題 1～3のまとめ、国試過去問		21	視路疾患②
7	うっ血乳頭、視神経炎		22	免疫① (体液性免疫と抗体のクラス)
8	視神経炎、RAPD		23	免疫② (細胞性免疫)
9	視神経症(虚血性、外傷性など)		24	重症筋無力症
10	練習問題		25	慢性進行性外眼筋麻痺
11	脳神経(Ⅲ、Ⅳ、Ⅵ)の解剖整理、動眼神経麻痺①		26	前期の総復習①
12	動眼神経麻痺②		27	前期の総復習②
13	滑車神経麻痺、頭位異常とParksの3steps①		28	前期の総復習③
14	滑車神経麻痺、頭位異常とParksの4steps②		29	前期の総復習④
15	滑車神経麻痺、先天性代償不全性IV麻痺		30	前期の総復習⑤
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト	0%	自己の理解度を確認する為、分野毎に小テストを実施する。小テストは評価基準には入れない。		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
視能学 第2版	丸尾敏夫 他編	文光堂		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
なし				
自由記載				
備考				
病態生理を理解することは、診察に役立つ検査を実践することに繋がります。頑張ってください。				